

田辺三菱製薬株式会社

2013年度 決算説明会

(2013年4月1日～2014年3月31日)

2014年5月9日

代表取締役社長

土屋 裕弘



田辺三菱製薬

2013年度決算



売上高

4,127億円（対前期比 -1.6%）

営業利益

591億円（対前期比 -14.3%）

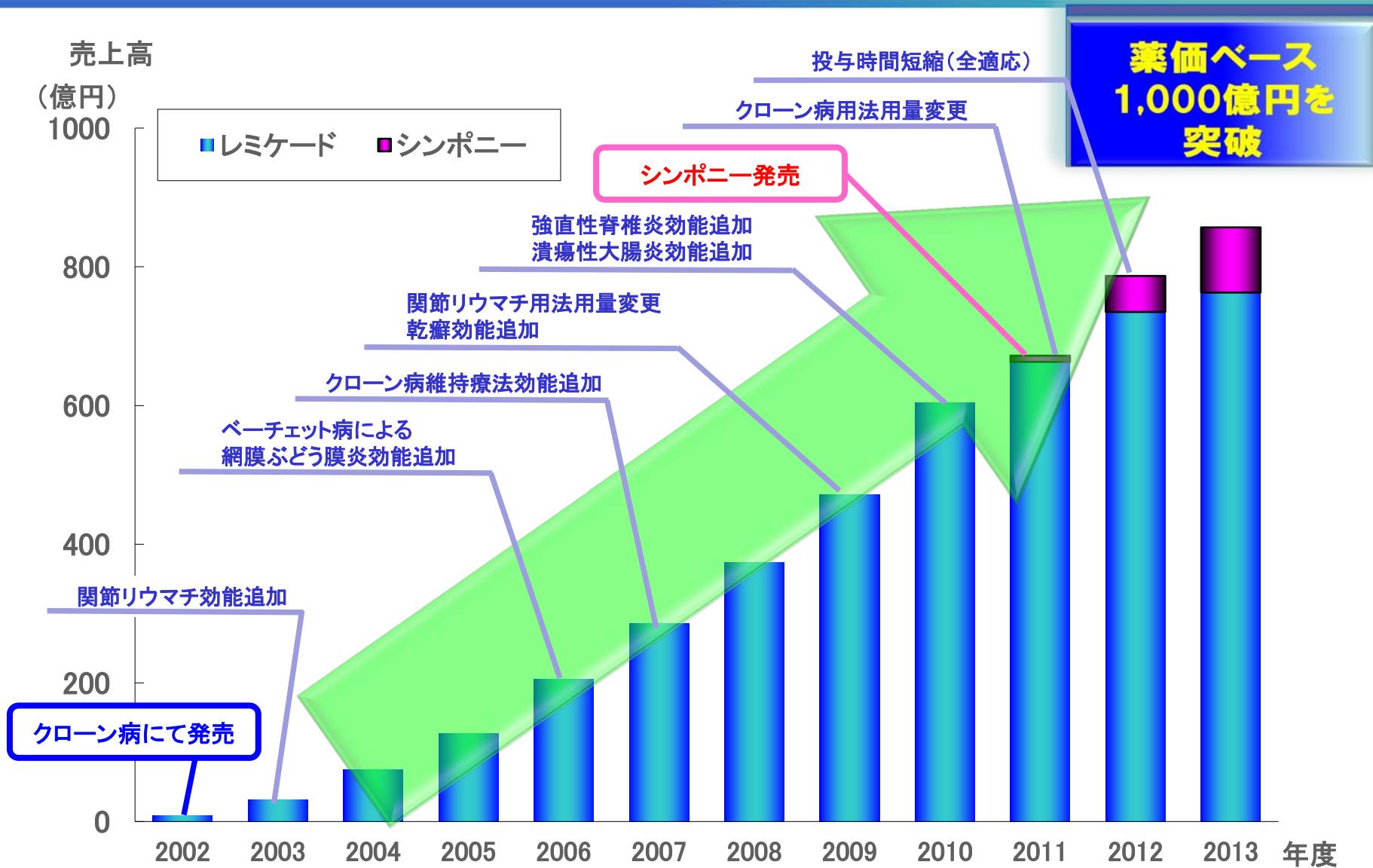
当期純利益

454億円（対前期比 +8.4%）

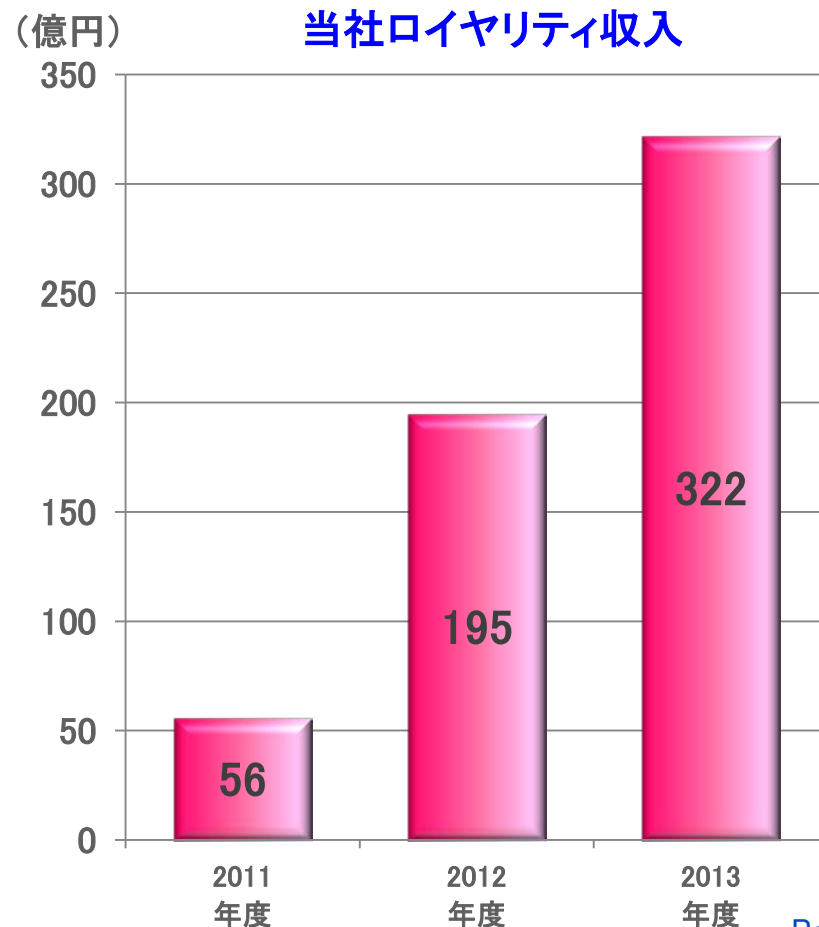
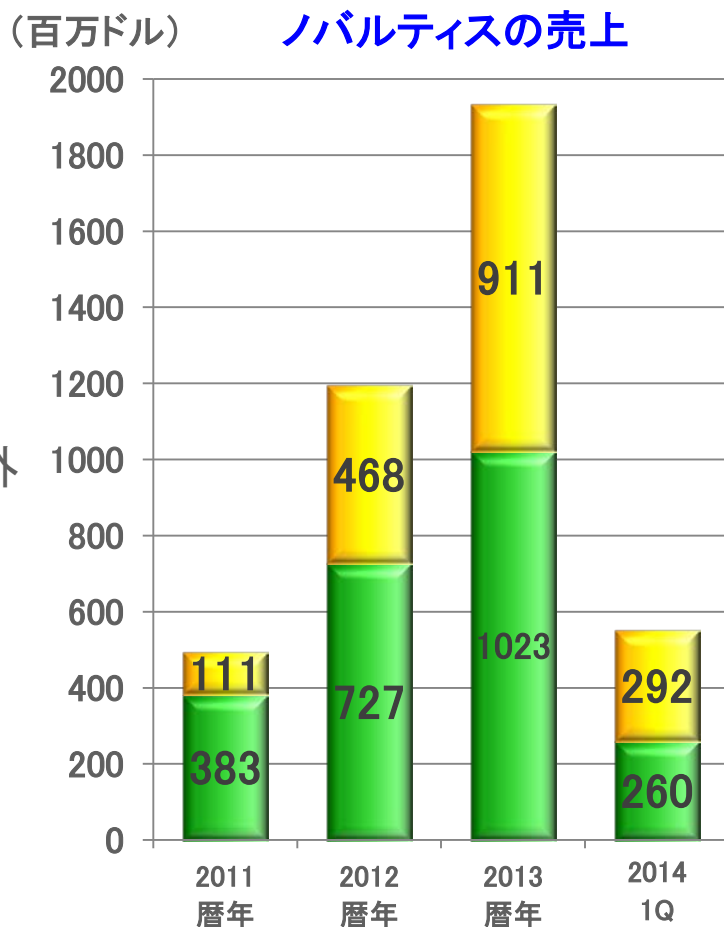
トピックス

- 当期純利益は、新社発足以来、6期連続して過去最高益を達成
- レミケード、シンポニー：両剤合わせて薬価ベース1,000億円を突破
- ジレニア：ロイヤリティ収入は322億円（前期比64.8%増加）
- インヴォカナ：米国での初期浸透は順調、欧州でも販売開始
- ワクチン事業の強化：カナダの医薬品会社メディカゴを買収（9月）
- 国内生産拠点再編を決定し、足利工場をシミックに譲渡
- 開発：TA-7284を国内申請（5月）、MT-4666の国際共同治験に参加（2月）
- 仲裁裁定の結果、レミケードの原価を低減、さらに特別利益に110億円を計上

レミケード・シンポニーの伸長



- 2013年は、特に米国以外の地域の売上が大きく伸長
- ノバルティスの2014年度第1四半期の売上高は552百万ドル(前年同期比+31%)
- 当社のロイヤリティ収入は322億円(前期比64.8%増加)



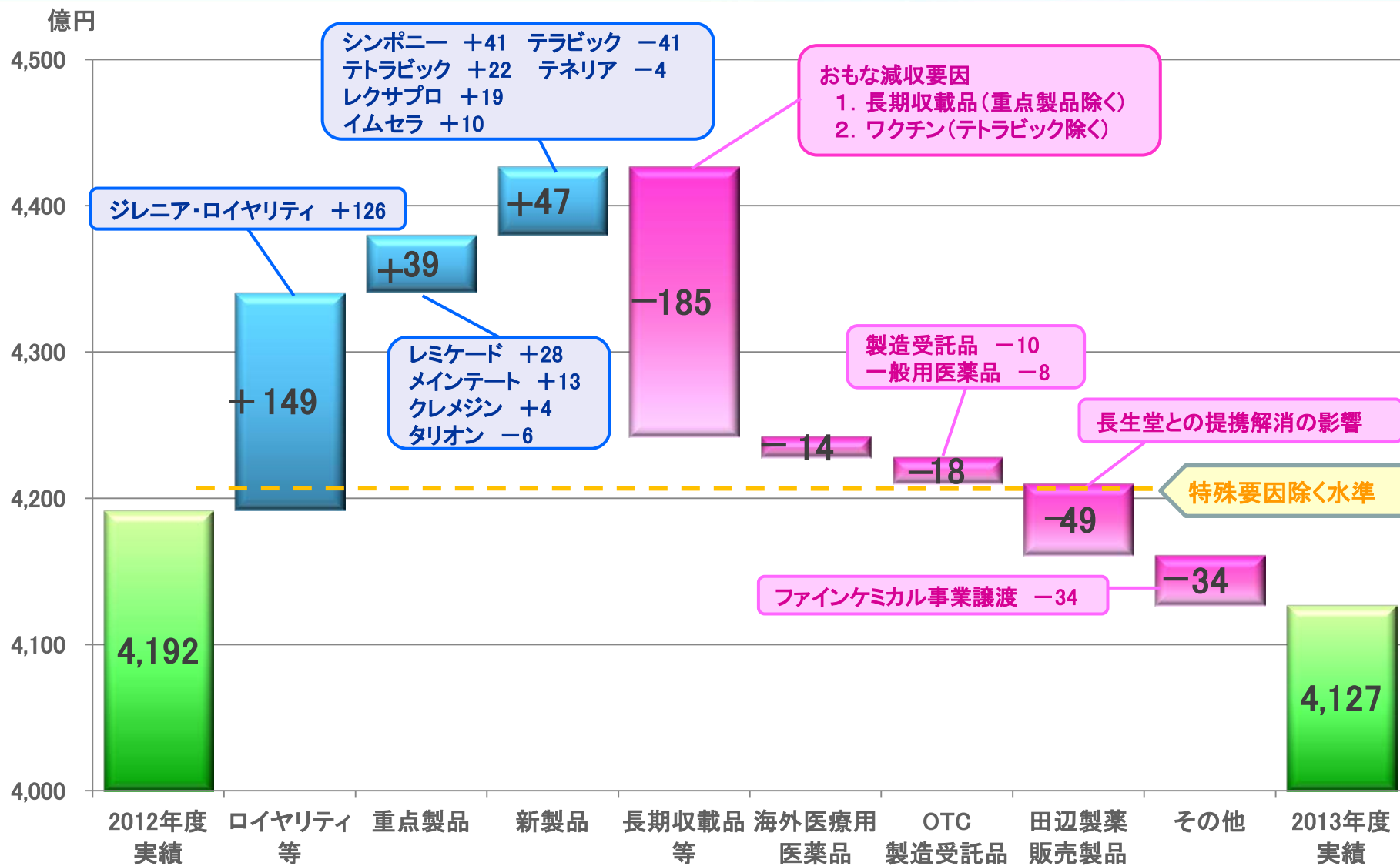
2013年度決算概況

	2013年度	2012年度	増減		業績予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,127	4,192	-65	-1.6	4,190	98.5
売上原価	1,694	1,664	+30	+1.8	1,700	99.6
売上原価率	41.0%	39.7%			40.6%	
売上総利益	2,433	2,528	-95	-3.7	2,490	97.7
販管費	1,842	1,838	+4	+0.2	1,860	99.0
営業利益	591	690	-98	-14.3	630	93.8
経常利益	619	694	-75	-10.8	655	94.5
当期純利益	454	419	+35	+8.4	450	100.9

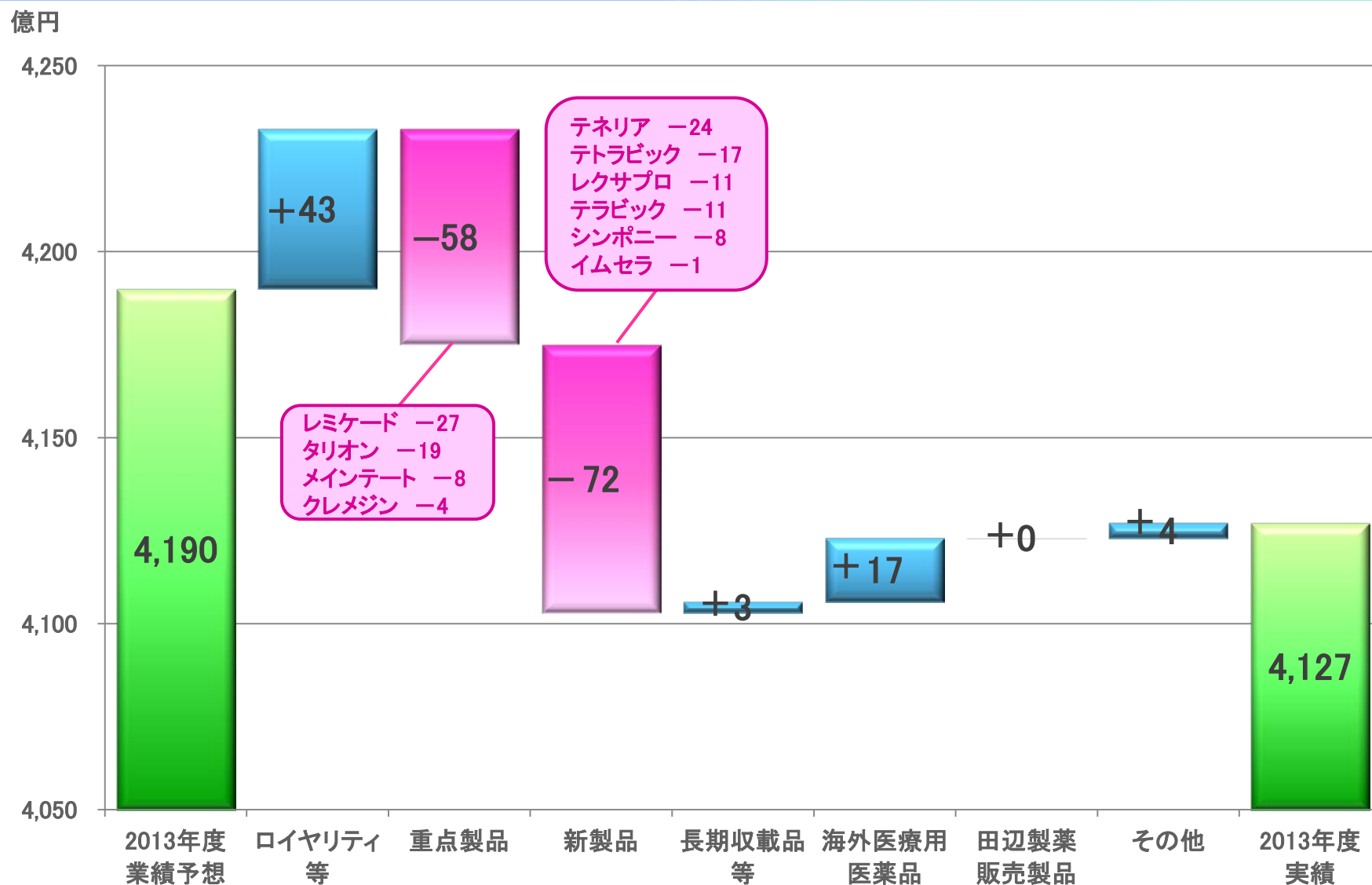
※業績予想：第2四半期決算発表時(2013年10月30日)に公表した予想値

売上高の増減(前期比較)

【2013年度 決算概況】



売上高の増減(業績予想比較)



売上原価・販管費・営業利益

	2013年度	2012年度	増減		業績予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,127	4,192	-65	-1.6	4,190	98.5
売上原価	1,694	1,664	+30	+1.8	1,700	99.6
売上原価率	41.0%	39.7%			40.6%	
売上総利益	2,433	2,528	-95	-3.7	2,490	97.7
販管費	1,842	1,838	+4	+0.2	1,860	99.0
研究開発費	704	665	+39	+5.8	710	99.2
人件費	484	519	-35	-6.8	483	100.1
のれん償却額	106	103	+3	+3.3	104	102.3
その他	548	551	-3	-0.6	563	97.3
営業利益	591	690	-98	-14.3	630	93.8

営業外損益・特別損益

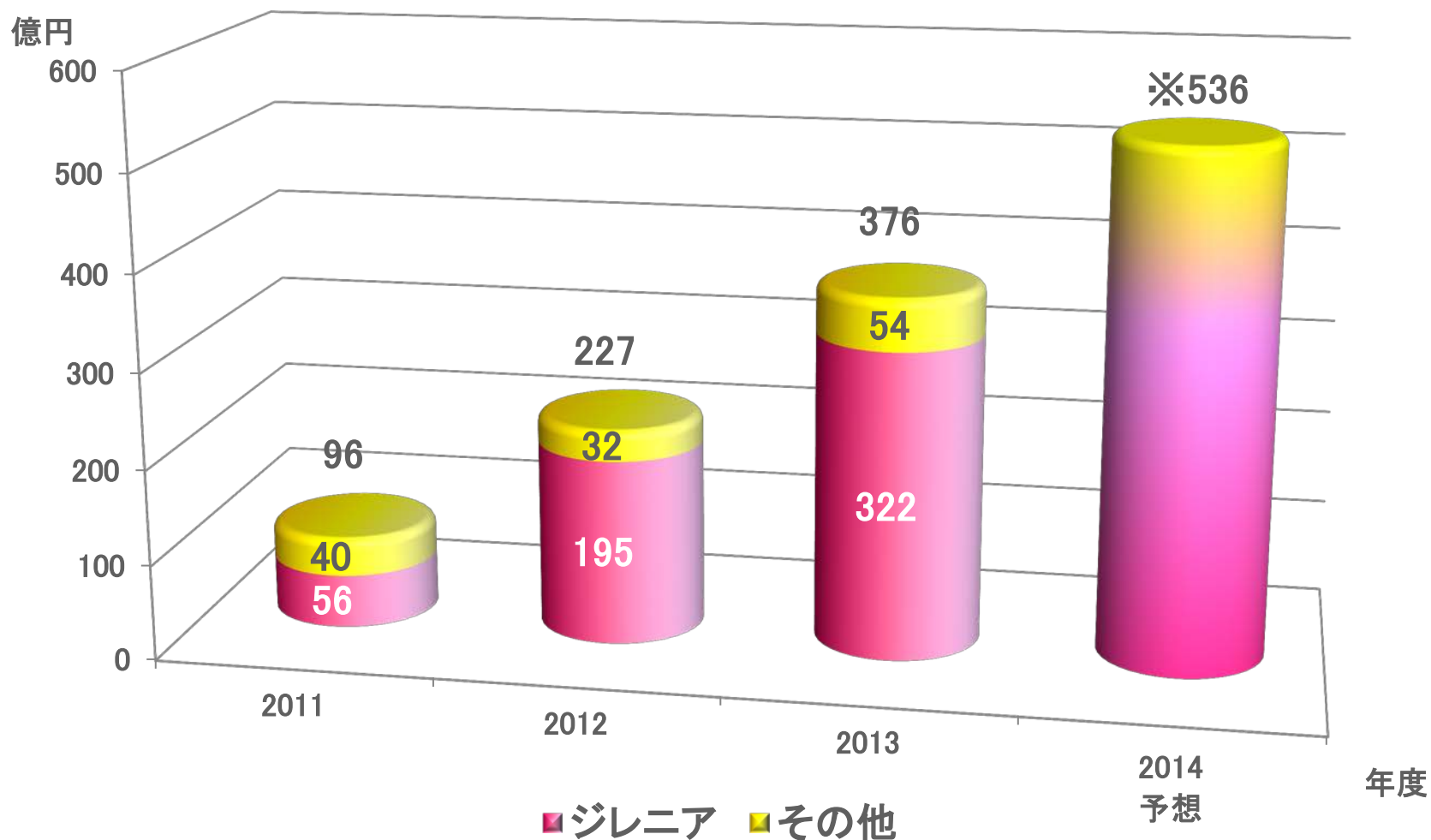
【2013年度 決算概況】

	2013年度	2012年度	増減		業績予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	591	690	-98	-14.3	630	93.8
営業外損益	28	4	+23			
経常利益	619	694	-75	-10.8	655	94.5
特別利益	153	42	+111			
仲裁裁定に伴う特別利益	110	-				
固定資産売却益	10	30				
その他	33	13				
特別損失	48	59	-12			
特別退職金	26	-				
減損損失	14	8				
事業統合関連損失	-	23				
HCV訴訟損失引当金繰入額	-	20				
その他	7	9				
当期純利益	454	419	+35	+8.4	450	100.9

2014年度業績予想



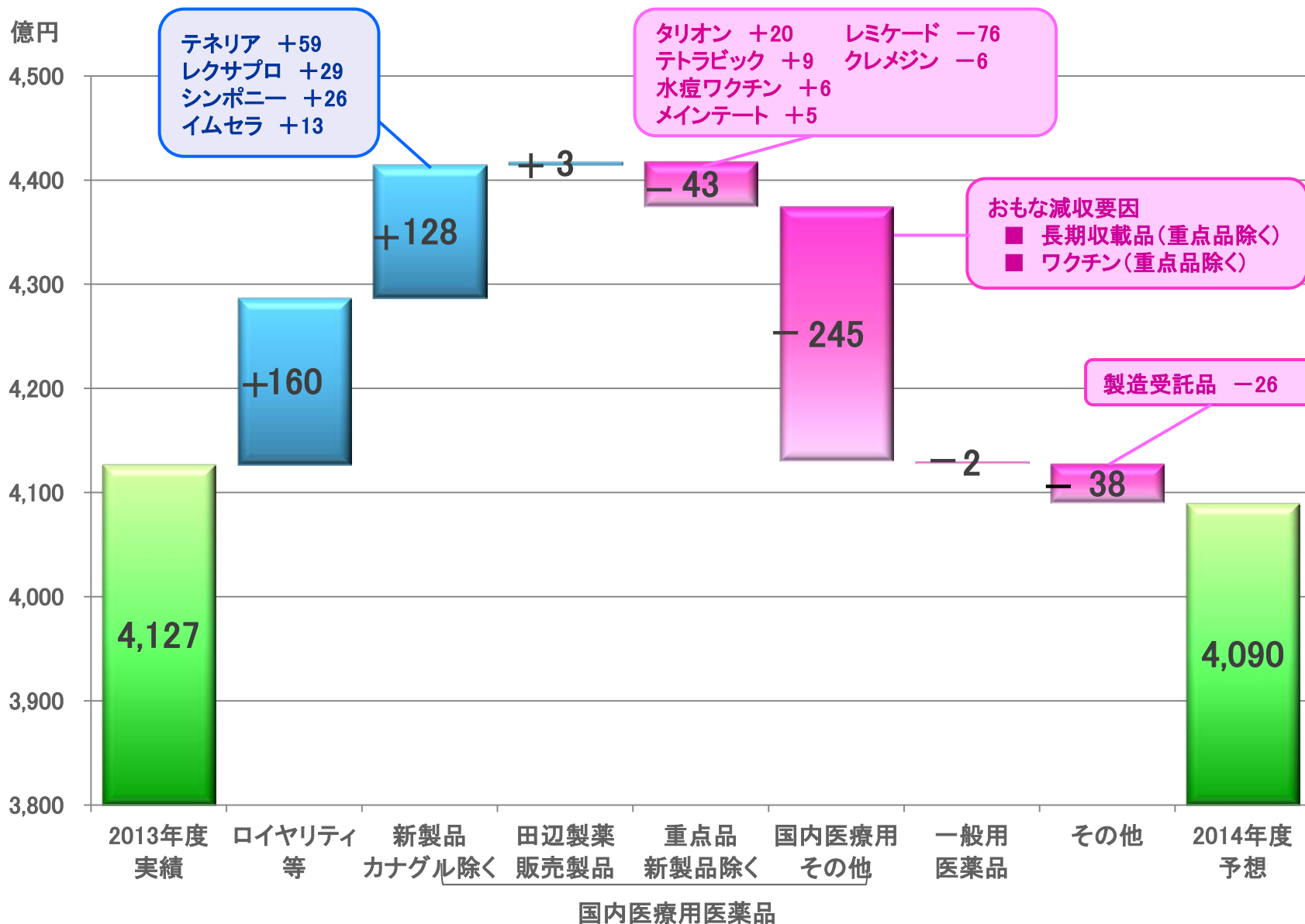
技術導出契約金等の推移



※2014年度予想:ジレニアの内訳は非開示

売上高の増減

【2014年度 業績予想】



2014年度 業績予想

	2014年度予想	2013年度実績	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,090	4,127	-37	-0.9
売上原価	1,615	1,694	-79	-4.6
売上原価率	39.5%	41.0%		
売上総利益	2,475	2,433	+42	+1.7
販管費	1,875	1,842	+33	+1.8
研究開発費	730	704	+26	+3.7
人件費	470	484	-14	-2.8
のれん償却額	108	106	+2	+1.5
その他	567	548	+19	+3.5
営業利益	600	591	+9	+1.5
営業外損益	15	28	-13	
経常利益	615	619	-4	-0.6
特別損益	0	106	-106	
当期純利益	405	454	-49	-10.8

中期経営計画について



2014年度の取り組み

1. 新薬創製力の強化

- 重点疾患領域とワクチン事業の強化
- TA-7284(インヴォカナ/カナグル)の展開

2. 新製品を軸とした国内事業の飛躍

- 国内医薬品事業戦略の基本骨子
- 新製品を軸とした成長に向けて
- レミケード&シンポニーの更なる売上向上へ
- 糖尿病領域の成長戦略
- レクサプロ、ワクチン(テトラビック、水痘ワクチン)の販売戦略

3. 事業・構造改革の加速化

- 構造改革プロジェクト(KKP)実施によるコスト削減
- 国内生産拠点再編の実行
- 新製剤棟(吉富工場、中国、インドネシア)の建設

重点疾患領域とワクチン事業の強化

TA-7284 (2型糖尿病)

TA-7284 + テネリア合剤

MT-3995 (糖尿病性腎症)

糖尿病・
腎疾患

テネリア
タナトリル
クレメジン
ビンドレン

MT-1303 (MS他)

レミケード効能追加

自己免疫
疾患

レミケード
シンポニー
イムセラ

New! ワクチン

テトラビック
インフルエンザ他

植物由来VLPワクチン

(インフルエンザ)

Hibワクチン

中枢神経
系疾患

レクサプロ

MP-214 (統合失調症)

MT-4666 (AD)

TA-7284(インヴォカナ/カナグル)の展開

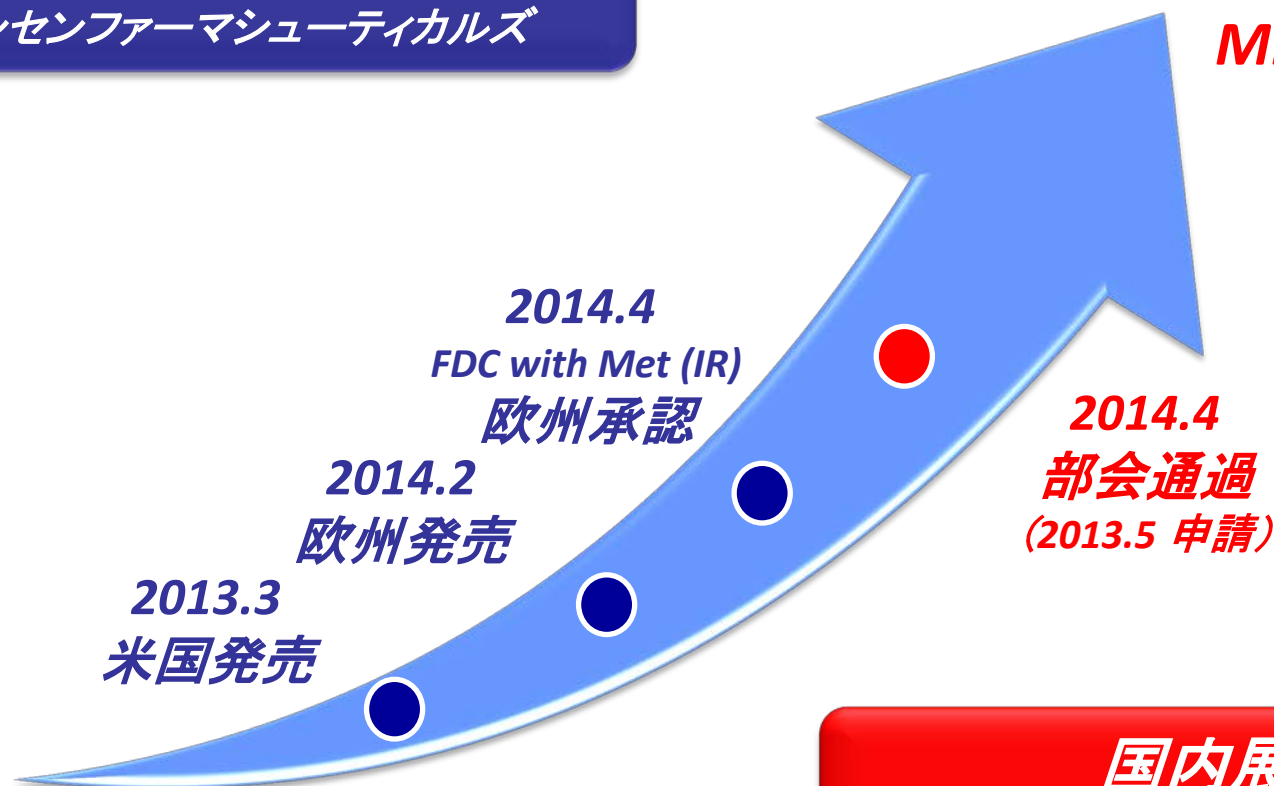
【2014年度の主な取組】  田辺三菱製薬

グローバル展開

ヤンセンファーマシューティカルズ

FDC with Met (XR/IR)
糖尿病性腎症

MP-513との
合剤



国内展開
田辺三菱製薬

国内医薬品事業戦略の基本骨子

【2014年度の主な取組】  田辺三菱製薬

- 育薬による重点品の売上を維持・拡大
- ジェネリック事業の強化、重点品を除く収益維持への取り組み

重点品

- 新製品:
シンポニー、レクサプロ、テネリア、イムセラ、カナグル
- ワクチン:
テトラビック、水痘ワクチン
- 既存品:
レミケード、メインテート、タリオン、クレメジン

- LCMの推進
 - エビデンス取得
 - 効能・剤型追加
- 外部連携による営業力強化
- 営業体制の強化

経営資源を最大限投入

ジェネリック

- 戦略的提携

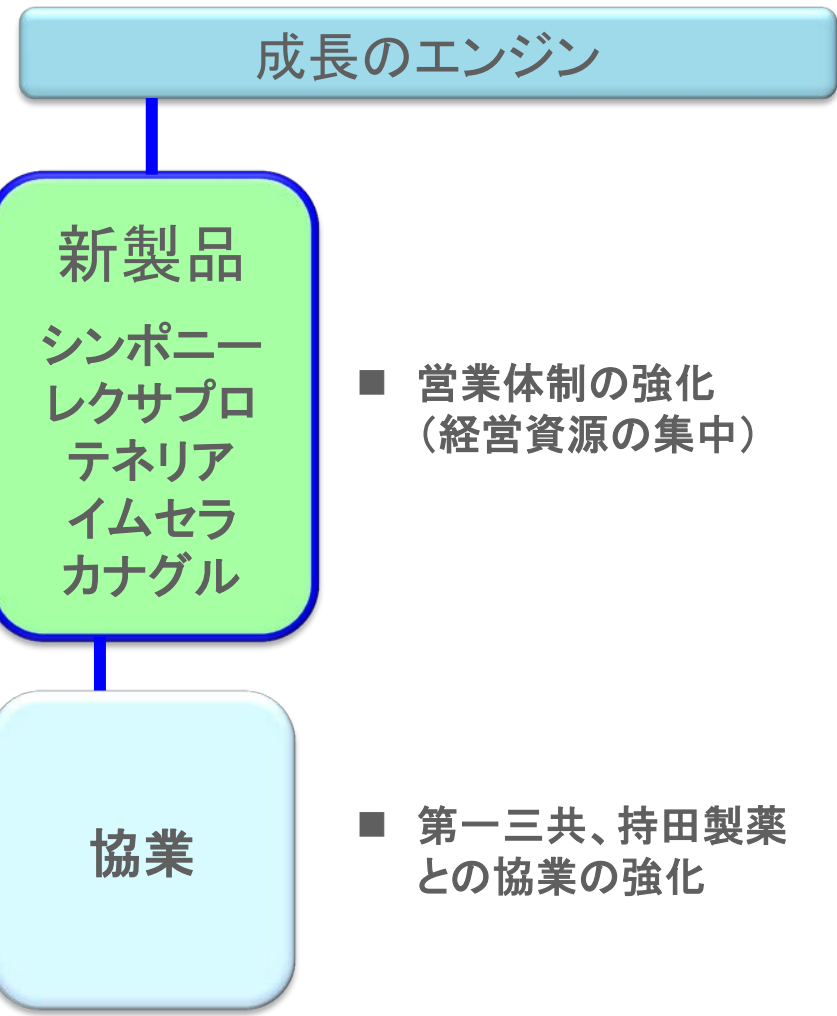
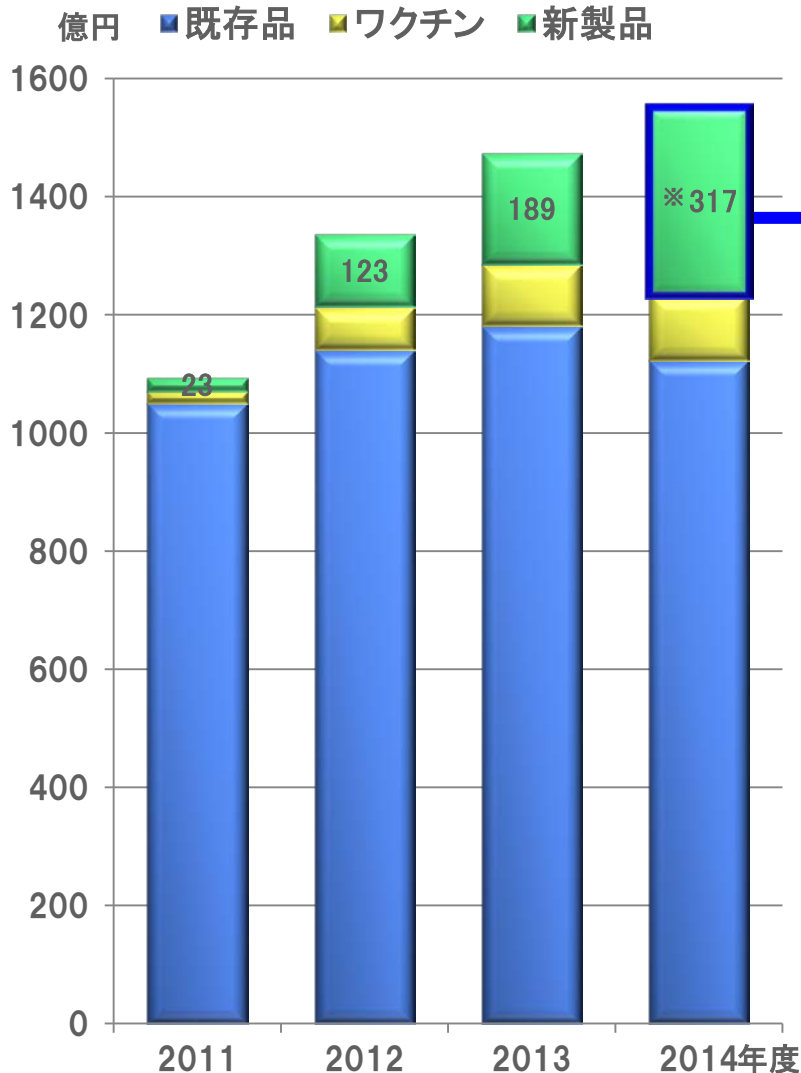
長期収載品

- MRを介さないプロモーション等

新製品を軸とした成長に向けて

【2014年度の主な取組】  田辺三菱製薬

重点品の売上推移



※ カナグルを除く新製品の売上高合計

レミケード&シンポニーの更なる売上向上へ

【2014年度の主な取組】  田辺三菱製薬

レミケード
シンポニーとも
症状に応じて
用量調節でき
静注、皮下注なので
様々な患者さんの
ライフスタイルに
対応できる



レミケード

患者さんへ
Treatment Holiday
(休薬)

医師へ
個別化医療の発展
RA治療のパートナーへ

めざすゴール:レミケードが「RA治療の基本薬」としての不動の地位を獲得

年度 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020

シンポニー

皮下注射
BioのNo.2

皮下注射
BioのNo.1へ

めざすゴール:使いやすく、効果の優れる生物学的製剤、皮下注製剤のスタンダード

年度 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020

テネリア売上拡大の転換期へ

映写のみ

映写のみ

テネリア
+
カナグル
の
売上最大化

◆カナグルの上市

◆テネリアとカナグルの合剤開発へ

継続的なエビデンス構築
による領域貢献

2剤が糖尿病治療薬のベース薬として浸透し、
糖尿病の田辺三菱製薬というブランドが確立

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

年度

めざす姿

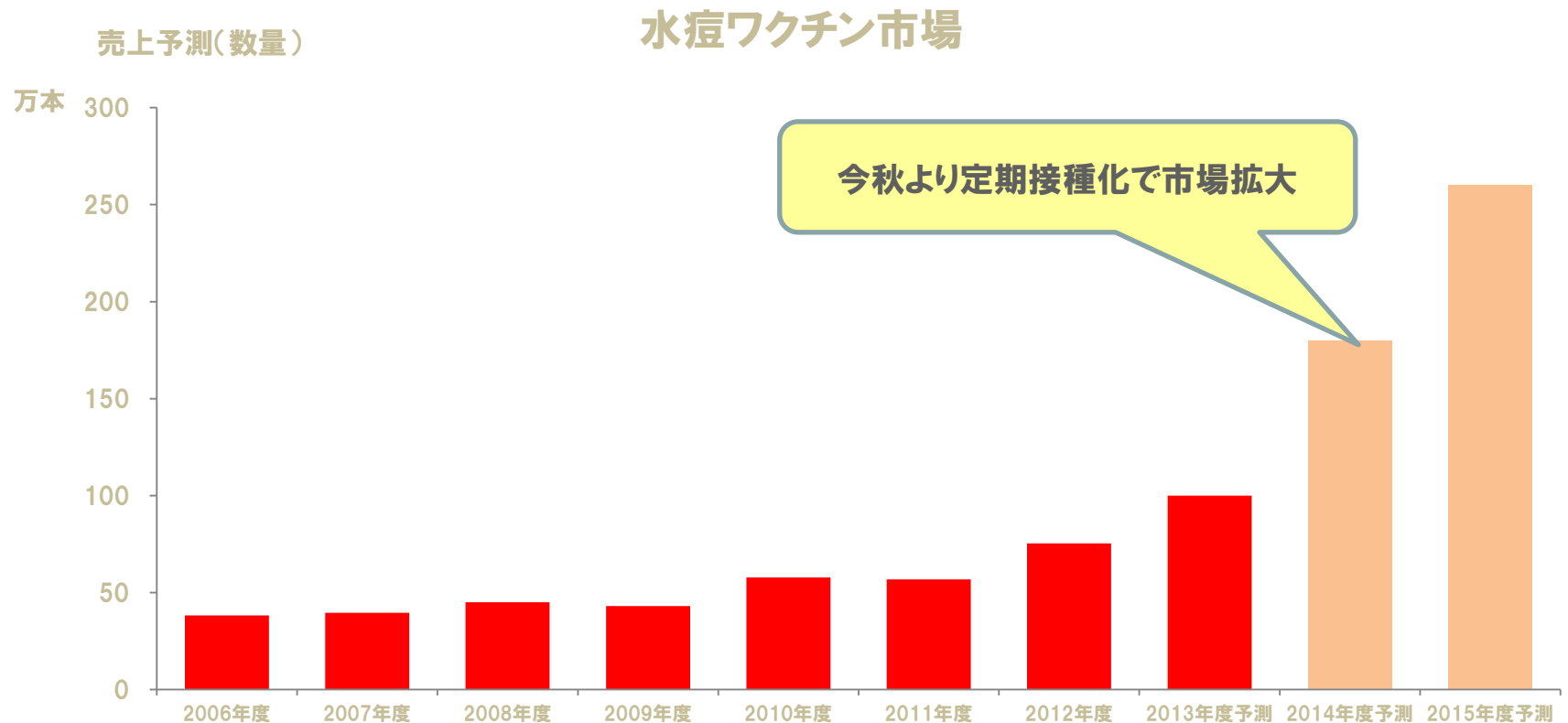
■ SSRI市場でシェア20%へ

- 持田製薬、吉富薬品、田辺三菱製薬のマルチビジネスの強化
- 寛解率の高さ(EBM)を普及



■ ワクチン体制の強化

- MRリソースの投入とワクチン担当者(VR)の充実
- 水痘ワクチンは定期接種化で大きく市場拡大へ

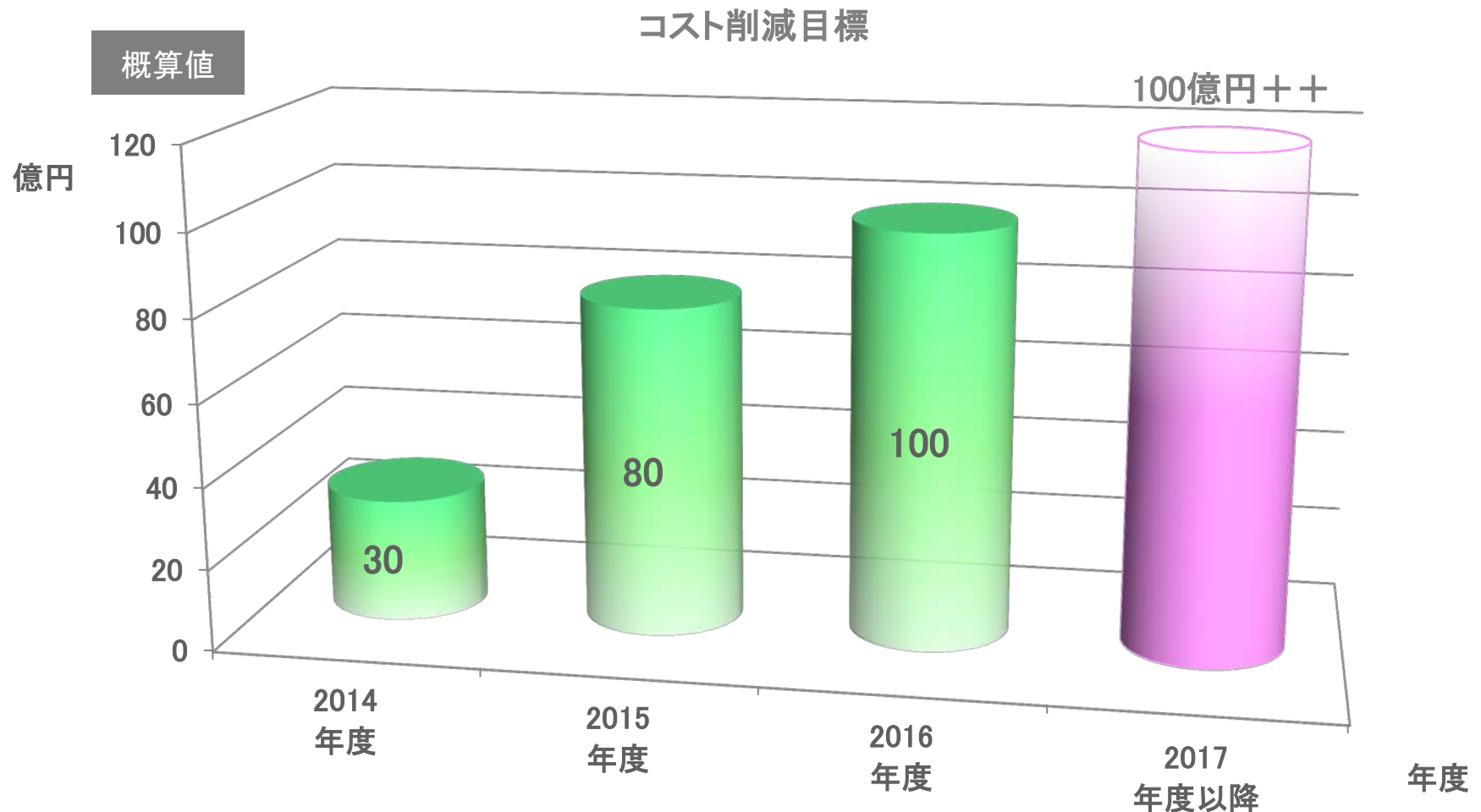


構造改革プロジェクト(KKP)の実施

【2014年度の主な取り組み】

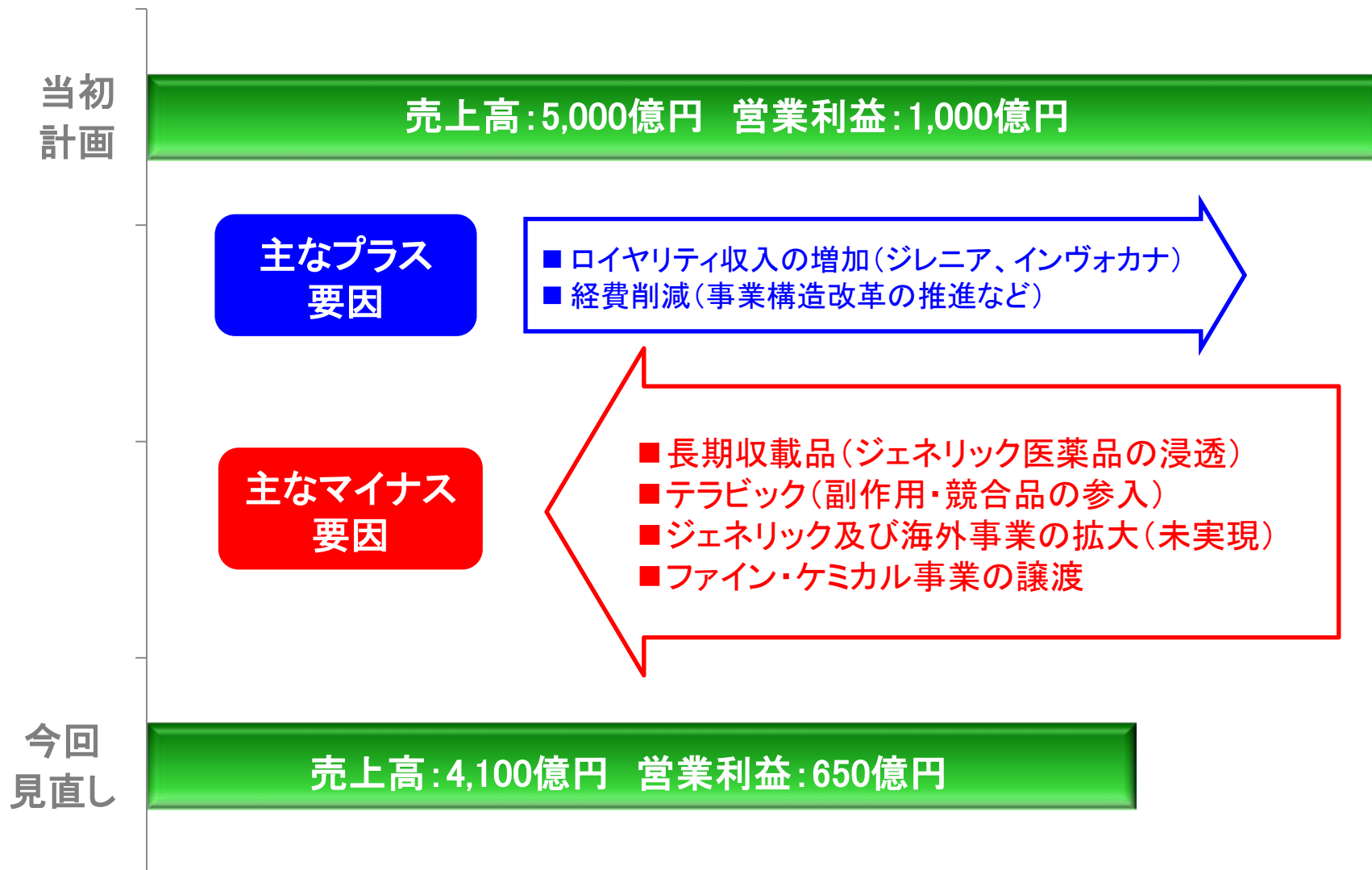


- 構造改革プロジェクト(KKP)を断行し、100億円規模のコスト削減を実現
- 2017年度以降は、工場再編などKKP以外のコスト削減効果を上乗せ



中期経営計画11-15について

■ 中期経営計画の数値計画の内、売上高、営業利益を見直し

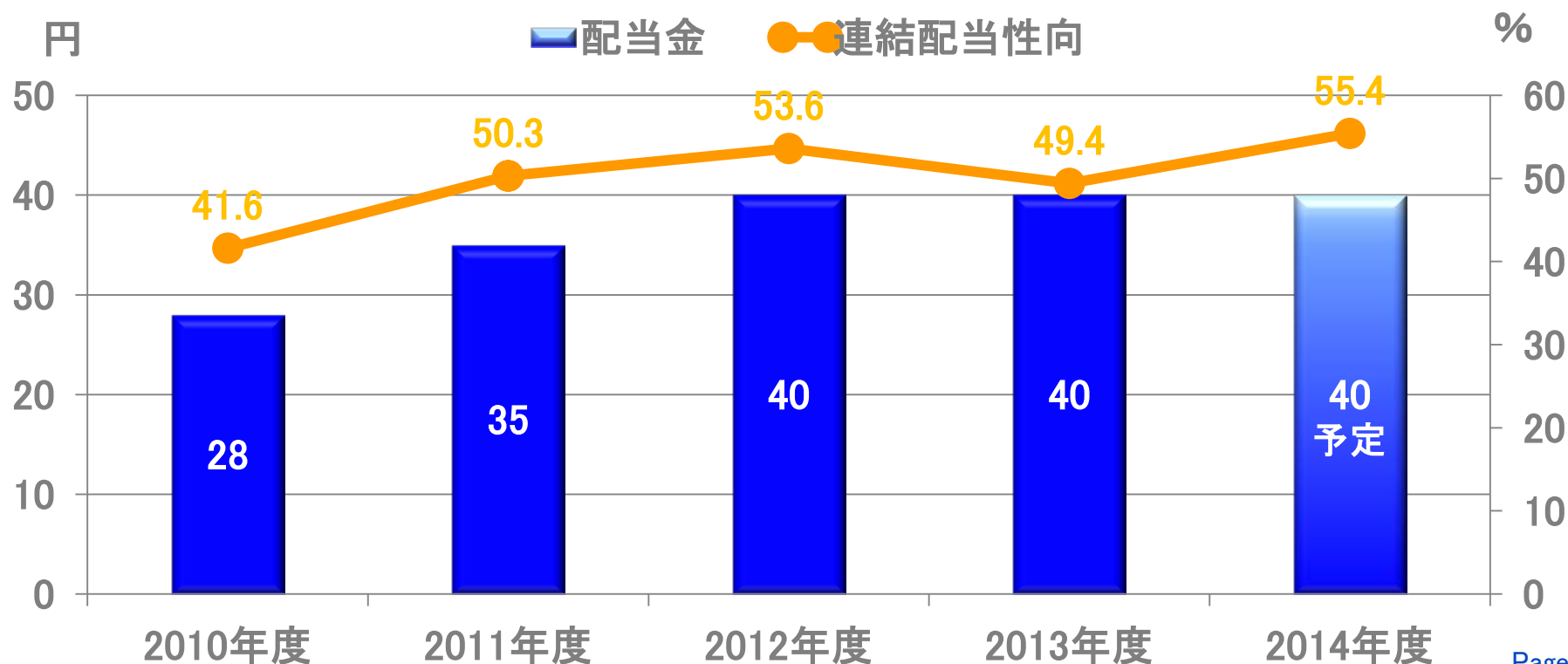


株主還元



■ 配当方針












- 当社は、将来成長のための投資を積極的に実行することにより企業価値の増大を図るとともに、安定的、継続的に株主還元を充実させていくことを基本方針としている
- 中期経営計画11-15期間では、利益成長に加え、連結配当性向50%（のれん償却前の連結配当性向40%）を目処に引き上げ、株主還元を拡充する










開発パイプラインの進捗

A decorative horizontal bar with a blue-to-teal gradient, starting as a solid blue bar on the left and fading into a light teal gradient on the right.

自社開発品

治験コード/製品名	機序(予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
TA-7284	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	日本					部会通過 (4/25)
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	国際共同治験 (フォーラムと共同)					
MT-1303	S1P受容体機能的アンタゴニスト (乾癬)	欧州					
	(炎症・自己免疫疾患)	日・欧・米					
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	日本					
インフルエンザ (H5N1)ワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ					
季節性インフル エンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国					
インフルエンザ (H7N9)ワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ					
メインテート	選択的 β 1遮断剤 (頻脈性心房細動)	日本					
テネリア	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病 追加併用)	日本					
テラビック	NS3-4プロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎 ジェノタイプ2)	日本					

2013年度の主要開発パイプラインの進捗 導出品

治験コード (導出先)	機序 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
TA-7284 (ヤンセン ファーマシュー ティカルズ)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	欧州					
	(糖尿病性腎症)	国際共同治験					
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤IR)	欧州					
		米国					審査完了 報告通知 受領
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤XR)	米国					
TA-1790 (ヴィーヴァス)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	欧州					
MP-513 (ハンドク)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	韓国					

New Value Creation

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

補足資料



セグメント別売上高

	2013年度	2012年度	増減		業績予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
医薬品事業	4,116	4,147	-31	-0.7	4,180	98.5
国内医療用医薬品	3,417	3,566	-148	-4.2	3,544	96.4
海外医療用医薬品	220	234	-14	-5.8	203	108.5
一般用医薬品	45	53	-8	-15.6	46	98.1
製造受託品	58	68	-10	-14.1	55	106.3
技術導出契約金等	376	227	+149	+65.8	333	113.0
その他	10	45	-34	-76.8	10	106.9
売上高合計	4,127	4,192	-65	-1.6	4,190	98.5
うち海外売上高	594	477	+116	+24.4	535	111.1

医療用医薬品 主要製品売上高

【2013年度 決算概況】

		2013年度	2012年度	増減		業績予想	達成率
		億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品		3,417	3,566	-148	-4.2	3,544	96.4
重点製品	レミケード	763	735	+28	+3.9	790	96.6
	メインテート	155	141	+13	+9.6	162	95.3
	タリオン	137	143	-6	-4.4	156	87.6
	クレメジン	126	122	+4	+3.0	129	97.3
新製品	シンポニー	94	53	+41	+77.5	101	92.5
	レクサプロ	65	46	+19	+42.0	75	85.7
	イムセラ	23	13	+10	+81.2	24	95.0
	テラビック	11	51	-41	-78.8	22	49.6
	テネリア	8	12	-4	-34.5	32	24.6
ワクチン		284	288	-4	-1.3	307	92.6
(インフルエンザ)		(72)	(77)	(-4)	(-5.9)	(82)	(87.9)
新製品 (テトラビック)		(67)	(45)	(+22)	(+48.3)	(84)	(80.0)
田辺製薬販売取扱品(注)		141	190	-49	-25.9	140	100.2
技術導出契約金等		376	227	+149	+65.8	333	113.0
(ジレニア ロイヤリティ)		(322)	(195)	(+126)	(+64.8)		

注：ジェネリック医薬品その他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

医療用医薬品 主要製品売上高

【2014年度 業績予想】



	2014年度 (予想)		2013年度 (実績)		増減	
	億円	億円	億円	億円	億円	%
レミケード	687	763	-76	-10.0		
メインテート	160	155	+5	+3.5		
タリオン	157	137	+20	+14.6		
シンポニー	120	94	+26	+28.1		
クレメジン	120	126	-6	-4.4		
レクサプロ	94	65	+29	+45.5		
テネリア	67	8	+59	+743.8		
イムセラ	36	23	+13	+58.8		
テトラビック	76	67	+9	+13.1		
水痘ワクチン	42	36	+6	+17.2		

製品パイプラインの現状(新規薬剤・効能追加)

赤字: 2013年度第2四半期決算発表(2013年10月30日)以降進捗

2014年5月8日現在

フェーズ1試験

- MT-1303(日・欧・米)
炎症・自己免疫疾患
- MP-513(米国)
2型糖尿病
- MT-3995(米国)
糖尿病性腎症
- MP-124(米国)
脳梗塞急性期
- MP-157(欧州)
高血圧
- GB-1057(米国)
安定化剤
- MP-424(韓国)
C型慢性肝炎
- コレバイン(日本)
高リン血症
- インフルエンザワクチン(カナダ)
インフルエンザ[H7N9]予防

フェーズ2試験

- MT-1303(欧州)
多発性硬化症
- MT-1303(欧州)
乾癬
- MT-9938(米国)
難治性そう痒症
- MP-513(欧州)
2型糖尿病
- MT-3995(欧州、日本)
糖尿病性腎症
- インフルエンザワクチン(カナダ)
インフルエンザ[H5N1]予防
- インフルエンザワクチン(米国)
季節性インフルエンザ予防
- コレバイン(日本)
2型糖尿病

フェーズ3試験

- MT-4666(国際共同治験)*1
アルツハイマー型認知症
- MP-214(日本)
統合失調症
- レミケード(日本)
難治性川崎病
特殊型ベーチェット病
小児・クローン病
小児・潰瘍性大腸炎
乾癬・増量
- イムセラ(国際共同治験)*2
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)
- ビンドレン(欧州)
小児・高リン血症
- ラジカット(日本)
筋委縮性側索硬化症
- タリオン(日本)
小児・アレルギー性鼻炎
小児・アトピー性皮膚炎
- テラビック(日本)
C型慢性肝炎(ペガシス併用)
C型慢性肝炎(フェロン併用)
- トリビック(日本)*3
ワクチン・トキシイド混合製剤
(百日せきジフテリア破傷風感染予防[2次接種])

申請

- TA-7284(日本)
2型糖尿病
- MP-424(台湾)
C型慢性肝炎
- テラビック(日本)
C型慢性肝炎
(ジェノタイプ2)

承認・販売開始 (2013年10月以降)

- テネリア(日本)
2型糖尿病・追加併用

主な導出品 (フェーズ3以降)

承認・販売開始

- TA-7284(欧州)
2型糖尿病
- TA-7284/Met IR合剤
(欧州) 2型糖尿病

申請

- MP-513(韓国)
2型糖尿病
- TA-7284/Met IR合剤
(米国)
2型糖尿病

フェーズ3

- FTY720(国際共同治験)*2
CIDP
- TA-7284/Met XR合剤
(米国) 2型糖尿病
- TA-7284(国際共同治験)
糖尿病性腎症

治療対象疾患

- : 自己免疫疾患
- : 糖尿病・腎疾患
- : 中枢神経系疾患
- : ワクチン
- : その他

*1 : フォーラム ファーマシューティカルズと共同開発。

*2 : 日本はノバルティスファーマと共同開発。海外はノバルティスに導出。

*3 : 阪大微生物病研究会と共同開発。

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。